

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 876

所管部局	福祉部	所管課	高齢福祉課	担当者名	井上 明美
事業名	家族介護教室事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	家族介護教室事業			政策体系	145
会計	介護特会	科目	4.地域 - 2.包括 - 2.任意		

1. 事業の概要

在宅で高齢者等を介護している方や介護に関心のある方を対象に、介護方法や介護者の健康づくり等について講演会を開催した。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

在宅で高齢者等を介護されている人、介護に関心のある人等を対象に、介護に関する相談、介護や介護予防に関する情報や技術の習得など進めるための事業。

②事業を実施する必要性

常時介護が必要な方の介護者負担の増大が課題となっている今日、地域における在宅介護者の介護にまつわるさまざまな不安の解消を図り、在宅における適切な介護の支援を行うことを目的として実施。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円		356	1,051	818	1,000	1,000	1,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円		0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	166	200	200	200
	国・府支出金	千円	0	0	497	600	600	600
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円		356	1,051	155	200	200
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.20	0.10			
人件費	千円	—	—	1,390	638			
事業費総額	千円	—	—	2,441	1,456			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

社会福祉会委託料	828,731円
----------	----------

5. 事業結果の概要

実施回数	16回
参加者数	306人
講演者等	<ul style="list-style-type: none"> ・映画上映 ・男性介護をテーマとしての講演会（立命館大学教授）、料理教室、意見交流会 ・介護用品に係る勉強会 ・認知症に関する講演会（詩人・児童文学作家）

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活動結果等
(1) 教室内容		
在宅で高齢者等を介護されている人、介護に関心がある人等を対象に、介護に関する相談、介護や介護予防に関する情報や技術の習得なさまざまなテーマの教室を実施します。①映画「老親ろうしん」の上映 ②「男性介護者の現状と悩み」立命館大学産業社会学部教授 津止正敏氏講演③「男性介護」をテーマにした、介護職の調理体験と試食をしながらの懇談会 講師 食生活改善推進委員等④「介護用品の選び方」相談及び意見交流会 講師 南丹地域包括支援センター・介護用品取扱業者⑤「支える側が支えられるとき～認知症の母が教えてくれること 詩人・児童文学作家 藤川 幸之助氏 講演	平成21年7月25日(土) 園部公民館・日吉生涯学習センター 平成21年10月21日(水) 園部公民館 平成21年10月23日(金) 八木公民館、平成21年10月30日(金) 南丹市役所美山支所、平成21年11月5日(木) 美山町民センター、平成21年10月24日(火) 園部公民館、平成21年11月20日(金) 日吉はーとぴあ、平成21年11月27日(金) 八木公民館、平成21年12月8日(火) 南丹市美山支所、平成21年12月10日(木) 社会福祉協議会日吉支所、平成21年12月16日(水) 園部公民館、平成21年12月18日(金) 八木公民館、平成22年1月22日(金) 園部公民館、平成22年2月16日(火) 南丹市役所美山支所、平成22年3月6日(土) 日吉町民センター	74人参加53人参加10人参加12名参加12名参加7名参加13名参加12名参加8名参加4名参加6名参加4名参加7名参加11名参加4名参加69名参加

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

21年度については、16回実施し参加しやすいように旧町ごとに会場を設営し実施した。さらに多くの参加があるように内容の工夫が必要。事業計画の広報等を行なうことでケアマネジャー等の連携を図り介護サービスの計画的な利用を促し介護の支援を行なうため次年度においても継続して実施していく。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
介護に関する相談や情報が必要な人にどの様に提供できるのかについて
- ②当該事業のアピール事項
各関係団体等への依頼や広報誌への記載を実施。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
もっと多くの参加があるよう工夫が必要。平成20年後期より南丹市社協に事業委託。